

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年03月27日

計画の名称	緊急輸送道路における無電柱化の推進（重点）（防災・安全）											
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）										重点配分対象の該当	○
交付対象	奈良県,奈良市											
計画の目標	緊急輸送道路における無電柱化を推進し、地震や台風による電柱の倒壊によって道路を閉塞させない「防災性の向上」を図る。 また、道路拡幅により、災害発生時の避難・救助活動をはじめ、各防災拠点への物資供給のための緊急車両の通行空間を確保する。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	10,310	A	10,310	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / （A+B+C+D）	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	緊急輸送道路における無電柱化率を向上させる。 緊急輸送道路における無電柱化率を算出する。 （無電柱化済み又は無電柱化の工事に着手済みの延長） / （緊急輸送道路ネットワークの道路延長） × 100 県管理道路における延長	3%	3%	4%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
目標値の小数点以下は、（H30当初）2.6%、（H32末）3.4%、（H34末）3.5%												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
道路事業	A01-001	道路	一般	奈良県	直接	奈良県	国道	改築	一般国道 1 6 8 号・王寺 道路	現道拡幅：L=1.52km	王寺町	■					1,311		-
	A01-002	道路	一般	奈良県	直接	奈良県	国道	改築	一般国道 1 6 8 号・香芝 王寺道路	現道拡幅：L=3.20km	香芝市・王寺町	■					317		-
	A01-003	街路	一般	奈良県	直接	奈良県	S街路	改築	奈良橿原線	現道拡幅 L=0.51km	奈良市	■					490		-
	A01-004	街路	一般	奈良県	直接	奈良県	S街路	改築	城廻り線（北郡山）	現道拡幅 L=0.98km	大和郡山市	■	■	■			4,853		-
	A01-005	街路	一般	奈良県	直接	奈良県	S街路	改築	畝傍駅前通り線	現道拡幅 L=0.37km	橿原市	■	■	■			2,334		-
	A01-006	街路	一般	奈良市	直接	奈良市	S街路	改築	奥柳登美ヶ丘線	現道拡幅 L=0.3km	奈良市	■					55		-
	A01-007	道路	一般	奈良県	直接	奈良県	国道	交安	（国）308号	無電柱化	奈良市		■	■			950		-
											小計						10,310		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						10,310		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

奈良県県土マネジメント部で事後評価を実施

事後評価の実施時期

令和7年3月

公表の方法

奈良県ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

緊急輸送道路における無電柱化および道路拡幅を推進することで、災害時における電柱の倒壊などによる道路の閉塞を防ぎ、避難・救助活動をはじめ、各防災拠点への物資輸送のための緊急車両等の通行空間を確保し、「防災性の向上」を図ることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

現道拡幅による渋滞緩和や、歩道整備による生活道路・通学路の交通安全性が向上した。

○特記事項（今後の方針等）

引き続き、緊急輸送道路における無電柱化および道路拡幅を推進する。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1			
	最 終 目標値	4%	実績値：2.6% 令和2年度より「防災・安全交付金事業」から「無電柱化推進計画事業補助」に移行したことから、計画期間途中までの実績評価となるため。
	最 終 実績値	2%	